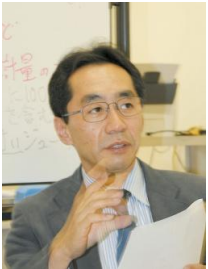


氏名	福永信義 (英文表記) FUKUNAGA Nobuyoshi			
所属/職名	地域総合科学科心理・日本史コース心理専攻教授	生年	1961年	
専門分野	教育心理学	学位	教育学修士・応用言語学修士	
研究テーマ	学校適応感と教育・家庭環境のかかわり 周産期における妊産婦の心理的適応と周産期支援(助産院をフィールドとして) 第二言語(英語)における中間言語発達と教授方法の関係			
教育実績	①過去と他人は変えられない。変えられるのは未来と自分。②「答え」があると思うな。学問は疑うことから始めよ。心理学は医療、経済、政治、家族や友人関係...あらゆる人間の営みに関係して「こころ」の仕組みを知る学問です。書店に行けば、心理学関係の本は山のようにある時代。興味をもつ人も少なくありません。独習している人も多いと聞きます。そんな中で、短大で心理学を学ぶ意味は、過去の心理学の成果を学ぶだけでなく、心理学という学問の「方法論」を学んでほしい。つまり、心理学者たちが、どんな「方法」でこころのメカニズムに迫っているか、そのやり方を学んでほしいと思います。また、大学・短大は、一人ひとりの先生が、一つの「学校」のようなもの。講義以外でも、積極的に「福永」という人間から吸収してください。			
	担当科目	概要(成果と到達度目標も記載)		
	心理学入門(心理の世界探訪)	ここでは、初心者を対象に幅広く心理学の各分野の知識を身につけます。		
	人間関係論(福永担当)	社会心理学を中心に、対人関係での心理現象を理解します。		
	教育の原理	「教育」とはなにか?過去の思想を知り、今後の教育の在り方を考えます。		
	学習の心理	こころの形成を「学習」という観点から知り、教育環境の意義を考えます。		
	子どもの発達心理	知性、社会性を中心に、誕生から成人に至るこころの発達の理論を理解します。		
	子どもとのコミュニケーション実習	実際に幼稚園に行き、幼児を実際を観察、子どもとのかかわり方を実習します。		
	教育メディア論	教育における、コンピュータをはじめとするマルチメディアの情報提示のあり方を理解し、パワーポイントの活用法を実習します。		
	社会教育調査論	社会調査の理論と方法を理解し、社会教育調査の実際資料を用いて、アンケート作成や統計解析の手法を学びます。		
心理学演習(福永担当)	心理統計の基礎を学び、実験系心理学研究の実際を体験します。			
研究業績	英語教授法の比較研究—コミュニカティブ・アプローチと文法的・アプローチ(共著『教育心理学研究第40巻第3号、1992年)			
	Communication-oriented Instruction in Second Language Acquisition: A Review of Background Theory(単著『敦賀論叢』10、1995年)			
	The Effects of Form-focused Instruction on Second Language Acquisition: A Review of Empirical Studies(単著『敦賀論叢』13、1998年)			
	『学校カウンセリング研究報告—5年間の歩み』(単著、武生第一中学校発行、2001年)			
	児童生徒の日常的幸福感と家庭・地域での人間関係(共著『敦賀論叢』17、2002年)			
	助産院から見たコミュニティメンタルヘルス(分担執筆、氏家靖浩編『コミュニティメンタルヘルス』2003年、批評社)			
	『社会科教育・歴史教育の未来像』(共著、敦賀短期大学地域交流センター、2005年)			
	状況的学習論に見る教育観(共著『敦賀論叢』20、2005年) ほか			
社会的活動	日本学校心理士会中部支部会員(研修講師担当)			
	敦賀気比高等学校・附属中学校スーパーバイザー(教育相談)			